

—富良野消防署占冠支署からのお知らせ—

令和8年6月18日

エアコンの室外機周辺に「水入りペットボトル」思わぬ火災原因に！

今年もエアコンを使用する季節がやってきました。使用するにあたり、製品本体以外の原因による事故に気をつける必要があります。

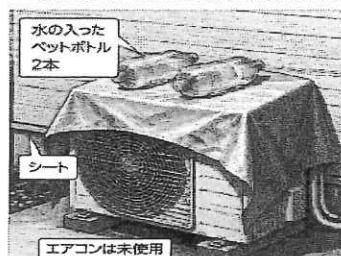
エアコン本体外部からの延焼によって室外機が焼けた事故の実例では、事故当日エアコンを使用しておらず、室外機にシートを掛け、飛ばされないよう水が入ったペットボトル2本を載せていたところ、室外機や周辺が焼ける火災が発生。

室外機から火が出た痕跡がないことから、ペットボトルが虫眼鏡のような役割を果たし、太陽光が1点に集まる収斂（しゅうれん）現象が起き、シートから火が出て室外機に燃え移ったものとみられています。

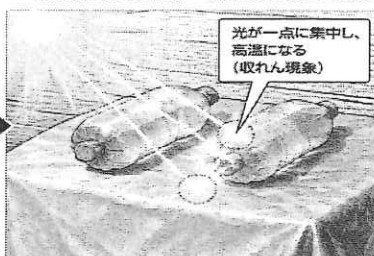
室外機の中のコンプレッサーには、冷媒ガスや潤滑油が使われており、火がつくと激しく燃える危険性があるので注意が必要です。

また、エアコンの取り付けや修理は、専門の知識や資格を持っている業者に依頼し事故を防ぎましょう。

① 室外機にシートをかけ、
水の入ったペットボトルを2本乗せていた



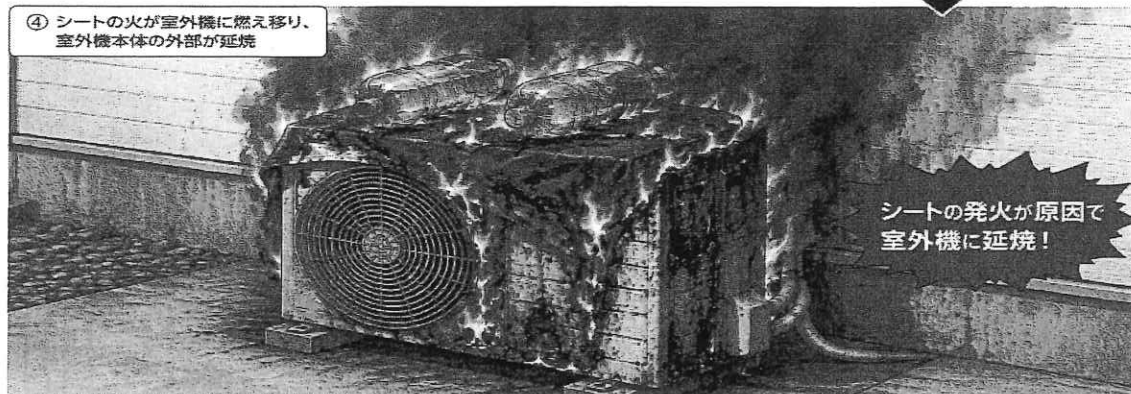
② 太陽光がペットボトルの水を通過し、
虫眼鏡のように光が一点に集中（収れん現象）



③ 集中した光の熱でシートが焦げて
発火



④ シートの火が室外機に燃え移り、
室外機本体の外部が延焼



担 当：占冠支署 指導係（奥平・山西・山田）

電 話：56-2119 FAX：56-2738